芦北町立佐敷中学校　学校便り

けやき

第６号

校訓
自主
根性
協同

R5、10、11 発行
文責　光山

令和５年度前期修了式

芦北町の小中学校では、昨年度から通知表を前期と後期に分けて渡すようになりました。本校では、前期の修了式を先週金曜日に行い、生徒に通知表を渡しました。生徒たちはそれぞれに今年度の前半を振り返り後期への思いを新たにしたことと思います。前期修了式における校長の話の概要を紹介します。

令和五年度前期修了式の話として、二つします。一つ目は通知表についてです。教科の評価、評定だけでなく、先生からの所見欄まで通知表の記述を全て見させてもらいました。特に、印象に残ったのは、所見についてです。担任の先生は、一人一人の学校生活の中で特に気づいたところに絞って書いておられました。学習面や部活動、生徒会、委員会の頑張りについて多く書かれていたように思います。それだけでなく、学級の向上のために努力している様子や生活面での一人一人の良さ、心がけなどについても触れてあり、うれしくなりました。内容は一人一人違いますが、それぞれの努力の様子や良さを伝えようと先生たちも工夫している様子が分かりました。課題や改善点を書いてあるかもしれませんが、それらをクリアすることで必ず、成長につながると確信しておられるからこそ記述されたと思います。自分なりに受け止めて、今後に生かしてください。前期の評価ということは、今年度の前半部分の評価であり全てではありません。それを自分自身で振り返り、良かったところは継続し、十分でなかったところや課題であると思ったところは改善するように努めることが大切であると思います。そうすることが、後半の充実につながります。今回の通知表を通して前半を振り返り、後半の学校生活、家庭生活の向上につないでほしいです。

二つ目の話です。令和５年度の始業式にあたり、この一年間こだわっていきたいことについて話をしました。それは、まず、「質の向上」「レベルアップ」の意識を持ってほしい、特に、「佐中プライド」と「凡事徹底」をレベルアップさせてほしいと話しました。これらの二つは、今後の一人一人の人生に必ず役に立つと考えているからです。また、先日行った、二学期の始業式には、挨拶のレベルをあげようという話をしました。「相手に届く」という基準で挨拶をしてほしいとお願いしました。始業式から一ヶ月あまり、佐敷中生徒の挨拶が、確実に変わってきているのを感じます。水曜日の生徒集会では、上河先生から挨拶が大きく届くようになったという話がありました。先生も同じ思いでいましたので、生徒の挨拶が変わっていることを感じ、うれしく思っています。特に、変化を感じているところは、これまで直前に来て挨拶をしていた人が、４～５m離れたところから先に挨拶をしてくれるようになったことです。

今は、グラウンドからでも姿が見えたらすぐに挨拶をしてくれます。特に、朝練をしている人たちの挨拶がすばらしいです。やはり、目標を持って究めようとしている人は、自然と意識が高くなると思います。

今日（六日）今年度の文化祭の合唱コンクールのために、学年別に合唱リハーサルがありました。これまでの仕上がりを確認する上でも貴重な時間であったと思います。各学年の発表の様子も見せてもらいました。一つのものを創り上げるには、協力だけでなく、意見のぶつかり合いもあったと思います。それらを乗り越えて、今回のリハーサルがあり、これまで頑張ってきた成果が見える合唱ばかりでした。本番が、より一層楽しみになりました。特に、三年生は、中学校生活の集大成としての文化祭であり、思い出に残るものにしてほしいと思います。皆さんの活躍を心から楽しみにしています。

おわりに、佐敷中の生徒が、より一層成長し、令和五年度の後半も充実した学校生活を過ごしてくれることを期待して前期修了式の話とします。

厳粛な雰囲気の中で修了式を行いましたが学校生活へのメリハリとけじめをつけるという点で、生徒一人一人が前期を振り返る契機となる意義深い式典になりました。

ありがとうございました

生徒会規約改正の取組！

２学期に入り佐中生徒会にとって大きな改革がありました。それは「生徒会規約」の生徒会役員選挙の部分を変更するというものでした。生徒会執行部からの提案があり、学級討議を行い、全校生徒アンケートにより提案の賛否を確認し、生徒議会で改正されました。その主な内容は・・・

１　選挙において、会長1名、1年生副会長1名を選出する。会長は、2年生副会長1名、議長1名、広報1名、書記2名を委嘱する。

２　生徒会役員は、会長、副会長（2名）、議長、広報、書記（2名）で組織する。

執行部の取組の充実、委員会の活性化、インスタの継続的な取組、1年生に立候補の機会を作る等様々な現状を分析し、課題と改善策について長い期間、検討を重ね、現在の佐敷中生徒会の活動を活性化し充実させるという観点から改正案を提案することになったようです。教職員も生徒会規約改正の必要性は議論していましたが、生徒たちはそれ以上に深く、広く考え、改正案へとつないでくれました。その思いの強さと実行力に感動です。

あとがき

二学期に入り、生徒たちは駅伝練習、文化祭の準備、規約改正等について並行して取り組んできました。忙しい中でも生徒たちは、経験を重ねるたびに成長しており、その伸びの大きさ、早さにいつも驚かされます。正に「鉄は熱いうちに打て」ということだと思います。

私事ですが、先週の修了式後にサプライズで全校生徒及び全職員から還暦のお祝いをしてもらいました。控え室で赤の上着と帽子を身につけ、生徒と教職員の前に立ち、全員の笑顔とともに生徒会長から心温まるメッセージをいただきました。まさかのセレモニーで、驚きと感動が一度に襲ってきました。心の底からこんな温かい生徒と教職員に囲まれて本当に幸せだと実感しました。ここにいる生徒、職員のためにできることを全力でやろうという思いを一層強くしました。（光）